

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	インテリア設計 I	担当教員	櫻木耕史		
学年学科	3年 建築学科	前期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(D-4) 100%		JABEE 基準 1 (1) :		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> インテリアを構成する室内空間とその構成要素である家具等の設計能力を養うことである。室空間の設計能力はインテリア設計士 2 級実技試験（日本インテリア設計士協会）と同程度の課題内容を課す。具体的には以下の項目を目標とする。 ①インテリア設計に関する企画力を向上する ②家具や日常の生活空間を意識したデザイン能力を向上する ③自らの意図を作品にする能力を習得する ④設計意図を説明する能力を向上する		<b>成績評価の方法：</b> 第一課題 100 点＋第二課題 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。ただし、一つでも未提出の課題があるときは、不合格とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 <b>達成度評価の基準：</b> 第一課題、第二課題を通して、6 割以上の習熟レベルまで達成していること。なお成績評価への重みは、①～④を各 25% とする。 ①課題の趣旨を理解し、ほぼ的確(6 割以上)な企画を立てられる ②創造的かつ整合性のある計画(6 割以上)を立てることができる ③デジタルツールを用いたほぼ的確で美しい(6 割以上)表現ができる ④設計意図をほぼ正確(6 割以上)に伝えることができる			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 1. 授業進め方：各課題は、基本的に個人個人で行うが、必要に応じてグループワークとすることがある 2. アドバイス： 各自が作業計画を立て、提出期限を厳守すること。 議論では、自らもしくは相手方の考え方を否定しないこと。また建設的な意見を述べるよう心掛けること。 CAD 室等を利用して、積極的に情報機器を利用し、技能習得に努めること。 各自が建築以外に興味のある分野と、家具や生活空間の関係を考えてみる 家具や雑貨、空間等の機能とデザインとの関わりを常に考え作品を観ること					
<b>教科書および参考書：</b> 参考書：コンパクト設計資料集成（日本建築学会編 丸善） 各種建築・家具等の雑誌					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：第一課題 生活空間の設計 課題提示、趣旨説明					
第 2 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 3 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 4 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 5 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 6 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 7 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 8 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 9 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 10 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 11 回：第一課題講評会・第二課題 家具の設計 課題提示、趣旨説明					A
第 12 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 13 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 14 回：設計の進捗状況のチェックと指導					B
第 15 回：第二課題講評会					A

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	課題の趣旨を理解し、的確(8割以上)な企画を立てられる。	課題の趣旨を理解し、ほぼ的確(6割以上)な企画を立てられる。	課題の趣旨を理解し、企画を立てられない。
②	創造的かつ整合性のある計画(8割以上)を立てることができる。	創造的かつ整合性のある計画をほぼ(6割以上)立てることができる。	創造的かつ整合性のある計画を立てることができない。
③	デジタルツールを用いて的確で美しい(8割以上)表現ができる。	デジタルツールを用いたほぼ的確で美しい(6割以上)表現ができる。	デジタルツールを用いて的確で美しい表現ができない。
④	設計意図を正確(8割以上)に伝えることができる。	設計意図をほぼ正確(6割以上)に伝えることができる。	設計意図を正確に伝えることができない。